

講演と映画の会への「招待」

日本人の4人に1人は、頭痛に悩まされたことがあると言われています。頭痛は、重大な脳の病気の信号であったり、そうではなくても、頭痛自体が治療の対象となる病気です。我慢したり、むやみに市販の鎮痛剤に頼りすぎるのはやめましょう。

今までにない突然の強い頭痛や、頭痛が起きるたびに強くなっていく場合、頭痛に伴って麻痺やしびれがある場合には、くも膜下出血や脳腫瘍など、脳の病気により引き起こされる頭痛の可能性が高く、また、生命に関わる病気であることもありえます。早急に病院に行きましょう。

脳に異常がなくても、慢性的に、あるいは、繰り返し起きてくる頭痛があります。拍動性に痛む片頭痛、頭重感を主体とする緊張型頭痛、眼の奥がえぐられるような群発頭痛などです。適切な治療や日常生活の工夫で症状が軽くなることも少なくありません。

頭痛の正体を知ってうまく付き合っていけるように、お話しさせていただきます。

なお、講演終了後は映画の上映を予定しております。皆様お誘い合わせの上、多数ご来場をお待ちしています。



講演 「頭がいたい時」頭痛について」

講師 新渡戸記念中野総合病院

脳神経外科 穂苅充彦先生

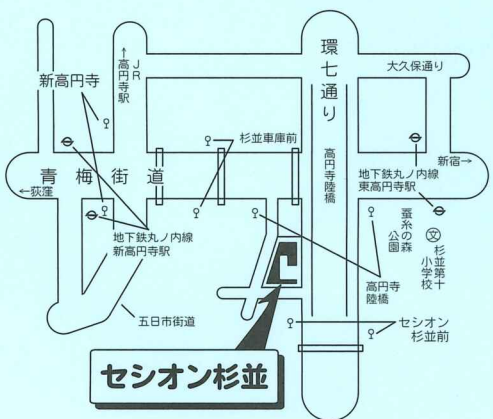
映画 「男はつらいよ」寅次郎相合傘」

日時 平成三十年二月二十八日(水)

午後一時三十分から四時三十分

場所 セシオン杉並(梅里一―二十二―三十二)

入場無料



主催 杉並区医師会
後援 杉並区

杉並区阿佐谷南三―四十八―八
電話 二三三九二―四一―四